

令和7年度第2回新潟県自立支援協議会就労支援部会 議事概要

日時：令和8年1月20日（火）

午後1時30～2時15分

会場：県庁行政庁舎103会議室

又はZoomによるオンライン形式

議事

1 工賃向上に係る現状と課題について

事務局から資料3～5に沿って説明

《市町村から》

- ・ 優先調達に係るマニュアルをもとに調達を行っているが、各所属の担当者の中でも優先調達の制度理解にばらつきが生じている状況。庁内掲示板を利用した啓発に引き続き取り組んでいく。
- ・ 予算要求の時期に全庁的に優先調達の取組について周知を図るほか、それ以外の時期も積極的な調達を呼び掛けており、公園の維持管理業務委託、施設の清掃業務委託に加え、令和6年度から新たに庁舎内の一部の清掃業務委託につながった。そのほかの工賃向上のための取組として、市内の共同受注窓口への活動支援も行っている。

2 今後の取組の方向性について（意見交換）

資料6を活用し、意見交換

【主な意見】

《利用者の状況》

- ・ 限られたスペースで多様な障害特性に対応する必要があり、環境調整が課題となっている。
- ・ 家庭問題を抱える利用者も多く、生活面のフォローが必要で支援が難しい場面がある。親の高齢化に伴い、生活支援・相談支援の負担も増加している。
- ・ 高齢化と新規利用希望者の増加により、単純作業のニーズが高まっている。

《支援体制》

- ・ 作業種が多く、繁忙期が重なるため、作業の優先順位を調整しながら対応している。
- ・ 外作業の増加に伴い、利用者・職員双方の体力面への配慮が必要で、ローテーションを工夫している。
- ・ 体調変化に自ら気付きにくい、意思表示をしない利用者については、職員の観察・連携が重要となっている。

《生産活動》

- ・ 外作業中心のため、農閑期（冬季）には作業量が減少する課題がある。
- ・ 外作業においては、猛暑時の熱中症リスクと収入確保のバランスが課題となっている。

- ・ 新型コロナ収束により自主製品（パン等）の販売が回復しており、地域へ積極的に出向くことで販路拡大を目指している。
- ・ 作業能力の高い利用者が、他の利用者のリード・支援・SOS 発信等を行い、役割分担が機能している。
- ・ 自主製品（パン・菓子）は物価高騰を踏まえ計画的に値上げし収入を確保している。一方、受託作業は単価の低さが課題であり、企業との信頼構築による単価改善や高単価作業の獲得が次のステップと感じている。